

## 日本ゲノム微生物学会 2022年第1回評議員会 議事録

日 時： 2022年3月2日（水） 10：00～12：00  
会 場： Zoomにて開催  
出 席：  
役員 黒川顕、大島拓、渡辺智、矢原耕史、森宙史、河野暢明、佐々木裕子、佐藤勉、  
大坪嘉行、相馬亜希子  
会計監査 阿部貴志、伊藤武彦  
年会長 塩見大輔  
評議員 林哲也、朝井計、跡見晴幸、飯田哲也、市川夏子、岩崎渉、大西康夫、  
大林龍胆、神沼英里、島田友裕、永田裕二、仁木宏典、布浦拓郎、野尻秀昭、  
本郷裕一、南澤究  
事務局 松田國博、齋藤英司

審議に先立ち、黒川会長より挨拶があり、評議員会の定足数を満たしていることを確認し、林議長の進行のもと審議が進められた。

### 第1号議案 2021年事業報告

議案書に従って2021年の会員数、会費納入率、各事業概要について、黒川会長および各担当より以下の通り、報告された。

- ・ 会員数の動向について  
賛助会員2団体が退会となったことが黒川会長より報告された。
- ・ 2021年年会について  
2021年年会は、新型コロナウイルスの影響で九州大学伊都キャンパスでの開催が中止となり、オンライン開催となったことが黒川会長より報告された。
- ・ ニュースレターの発行について  
佐藤ニュースレター編集幹事より、例年通り年間2号のニュースレターを発行したことが報告された。
- ・ 研究奨励賞、若手賞の選考について  
黒川会長、仁木選考委員より2022年度の奨励賞、若手賞の選考経過、結果について報告が行われた。  
また、若手賞の年齢制限の在り方について議論が行われ、年齢制限だけでなく学位取得後〇年以内というような文言を加えてはどうかとの意見があり、執行部で規約改定案を検討し、再度評議員会で議論をすることとなった。
- ・ 若手の会の開催について  
若手の会の世話人を務める河野集会幹事より、「第15回日本ゲノム微生物学会

年会ウェビナー企画」として開催し、Bill Soderstrom 博士（シドニー工科大学）を招いてご講演いただいたことが報告された。

- 学会ホームページの活用について  
学会ホームページについて、矢原広報幹事より、求人情報やシンポジウムの情報発信を行ったことが報告された。
- 男女共同参画について  
男女共同参画について、相馬男女共同参画幹事より、2021年年会での託児サポートを計画していたが、年会の現地開催が中止となったため、サポートが行われなかったことが報告された。

## 第2号議案 2021 年学会収支決算

渡辺会計幹事より、2021 年の収支決算について、スライド資料に基づいて以下の報告が行われた。

- 一般会員年会費収入がほぼ予算と同額となった。
- 年会の黒字 130 万円が年会より返金され、予算と比べて大幅な増収となった。
- 支出については、年会援助金や若手の会の補助金などの支出がなく、大幅な支出減となった。
- 結果として予算を大幅に上回る 4,679,200 円の繰越金が生じた。

また、阿部、伊藤両会計監査より適切に執行されていることを確認したとの報告があり、慎重に審議した結果、2021 年度収支決算案は全会一致で承認された。

## 第3号議案 2022 年事業計画

黒川会長より、議案書に従って 2022 年の事業計画の概要が説明され、また各担当より以下とおり説明された。

- ニュースレターの発行について  
佐藤ニュースレター編集幹事より、例年通り年間 2 号のニュースレターを発行する予定であり、黒川会長の提案により新企画も計画されていることが説明された。
- 研究奨励賞、若手賞の選考について  
先ほどの議論の通り、学会賞の選考規定を改定したうえで、次年度の選考を行う予定であることが、黒川会長より説明された。また、選考委員については、基本的には留任予定であるが、ご定年の先生が委員を退任される予定であり、補充選任する予定であることが黒川会長より説明された。
- 若手の会の開催について  
若手の会の世話人を務める河野集会幹事より 2022 年の若手の会はオンラインでのセミナー形式開催を数回に分けて行う予定であり、うち 1 回は信州大学応用微

生物学ルネサンスセンターと共同でオンラインイベントの開催を検討している。

- 学会ホームページの活用について  
これまで同様会員からの情報提供・依頼をもとに、シンポジウムや求人情報などの情報提供を行っていく方針であることが、矢原広報幹事より報告された。
- 男女共同参画について  
男女共同参画については、これまで通りの年会での託児サポートだけでなく、ワーキンググループを再起動して活動を行う予定であり、学会の男女比の調査などの基礎調査を行うことや、男女共同参画学協会連絡会の活動をメーリングリストなどで、発信することを検討していることが、相馬男女共同参画幹事より説明された。
- 第16回年会（2022年）について  
第16回年会については、2022年3月2日（水）～4日（金）、オンラインで開催されることが、塩見年会長より説明された。
- 新規事業について  
学会財政の大幅な黒字を活用して、年会の活性化、若手育成、YouTubeチャンネルの開設などの広報活動、異分野や企業の参入、研究への提言など新規事業を計画していることが、黒川会長より説明された

以上について慎重に審議を行い、2022年事業計画は全会一致で承認された。

#### 第4号議案 2022年学会予算案

渡辺会計幹事より、2022年の収支予算案について、スライド資料に基づいて以下の説明が行われた。

- 収入については、例年通りの収入を見込んでいる。
  - 支出については、2022、2023の2年分の年会援助費を計上している。
- また、第3号議案で承認された新規事業費用として、予備費を10万円から100万円に変更したいとの提案が、黒川会長、渡辺会計幹事から説明された。

以上について慎重に審議し、予備費を修正したうえで、2022年度予算案は、全会一致で承認された。

#### 第5号議案 第17回年会（2023年）について

かずさDNA研究所の田畑哲之先生に打診したところ快諾いただいたことが黒川会長より説明され、第17回年会については田畑哲也先生を年会長としてかずさDNA研究所で開催することが全会一致で承認された。

#### 第6号議案 第18回年会（2024年）について

第18回以降の年会については未定であり、これまでのような各大学持ち回りではな

く、会場を固定したうえで、責任者のみ選任する方法なども含めて、引き続き検討していくこととなった。

#### 報告事項

1. 第 15 回年会（2021 年・オンライン開催）収支報告  
オンラインで開催された第 15 回年会について収支報告書が示され、黒川会長より報告された。
  
2. 第 16 回年会（2022 年・オンライン開催）報告  
塩見年会長より、第 16 回年会の開催状況について、事前参加登録が 280 名を数え、順調に進められていることが報告された。  
  
会 期：2022 年 3 月 2 日（水）～3 月 4 日（金）  
会 場：立教大学池袋キャンパス（〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1）
  
3. 会費未納会員への対応  
未納会員について、資料をもとに黒川会長から報告が行われた。長期未納による退会処分候補の会員について心当たりがあれば、ご本人に連絡をしていただくよう黒川会長から呼びかけられた。
  
4. その他  
特になし。

以上